

# Hiroshima 2018

## 第11回 小児がん・脳腫瘍全国大会

エスビューロー小児がん拠点病院全国キャラバン 第1弾

参加無料

広島国際会議場

<http://www.pcf.city.hiroshima.jp/icch/>  
〒730-0811 広島県広島市中区中島町1-5

2018年7月28日(土)・29日(日)

小児がん経験者(サバイバー)と家族のQOL向上のために、どのようにAI・IoTを役立てられるかを考えます。

開催予定プログラム

7月28日(土)

### 小児がん最新情報セミナー

- 小児脳腫瘍の最新の知見 ~国際シンポジウム2018から~
- 今なぜ、AYA世代専用病棟なのか? ~小児がん拠点病院初の試み~  
原 純一氏 (大阪市立総合医療センター 副院長 兼 小児医療センター長/エスビューロー理事)
- 知っておきたい「CAR-T療法」、その概要と課題
- AYA世代に寄り添うために  
一戸 辰夫氏 (広島大学原爆放射線医学研究所 血液・腫瘍内科研究分野 教授/エスユース理事)



広島国際会議場 (平和記念公園内)

7月29日(日)

### 小児がん AI フォーラム in 広島

AYA世代の苦悩と未来への思い、僕の場合

小児脳腫瘍経験者・白血病経験者・白血病移植経験者の発表

晩期合併症とともに生きるわが子へ、親の願い

家族の発表

学校で進む合理的配慮とICTの活用

丹羽 登氏 (関西学院大学 教育学部 教授)

「一人暮らし」や「移動の自立」を支援するAI・IoT ~イヤホン型ウェアラブル・コンピュータとは~

谷口 和弘氏 (広島市立大学大学院 情報科学研究科 講師)

AIが拓く数年後の世界 ~サバイバーの生活を支え広げる、あんなこと、こんなこと~

日浦 慎作氏 (広島市立大学大学院 情報科学研究科 教授)

パネルディスカッション AIはサバイバーの活躍を支援できるか?

晩期合併症を有する小児・AYA世代のがん経験者の「自立と活躍」に、AIがどのように役立てられるかを展望し、当事者家族を交えて意見交換します。

小児がん経験者とそのきょうだいのための  
7/29(日) サマースクールシーズン8

今夏もスコップ三味線&打楽器アクティビティでエンディング!  
今秋開催の「ゴールドリボンジョイ&ウォーク」でも披露予定



スコップ三味線動画

7/29(日) 第7期ロスカレッジ 対象:小児がん喪失家族

大阪で月1回開催の「折り鶴プロジェクト&ゆるりワーク」が広島に出向きます♪  
ロスカレッジ顧問 柳澤 隆昭氏 (東京慈恵会医科大学 脳神経外科学 教授) による卓話



大会運営事務局 (お問い合わせ先)

特定非営利活動法人 エスビューロー

エスビューロー

検索

ポスター、パンフレット (作成中) 送付希望の方は下記へ電話、もしくはメールにてお知らせください。

ホームページ: [www.es-bureau.org](http://www.es-bureau.org) TEL&FAX: 072-622-6730 E-mail: [esbureau@hcn.zaq.ne.jp](mailto:esbureau@hcn.zaq.ne.jp) 〒567-0046 大阪府茨木市南春日丘7丁目5番8号 (大阪大学医学部附属病院前)

主催: NPO 法人  
エスビューロー

共催 (今年度 WAM 事業連携団体): 地方独立行政法人大阪市民病院機構 大阪市立総合医療センター、広島大学原爆放射線医学研究所 血液・腫瘍内科研究分野、  
東京慈恵会医科大学 脳神経外科学研究室、NPO 法人 エスユース (小児がん当事者団体)

後援: 認定 NPO 法人 ゴールドリボンネットワーク